

2020 年度実施概要

学校名

和歌山県立串本古座高等学校

採択活動名

「本州最南端まるごとキャンパス」未来のローカルリーダーの育成を目指して

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 串本さかな学 ～魚を中心に串本地域の自然を体験する・地元の魅力を見つける～	2	理科
2. 串本さかな学～さかなを通して地域を学ぼう～	3	理科
3. 南紀のジオを学ぶ	3	理科

取り組みの概要

本校では、2018 年度よりグローバルコースを中心に、上記目的を達成するため独自の学校設定科目を開講した。本年度からは、さらに深い学びとしていくため 3 学年において新たな学校設定科目を開講した。本校の学校設定科目では共通して、海洋教育を柱として地域の教育資源を活用し、串本地域の良さや地域課題について体験を通して学べるような科目を設定している。授業内容は理科的な内容にとどまらず、串本に関する歴史や観光についても学び、地域活性化の可能性を探っている。串本の自然をよく観察し実際に触れながら教員だけではなく、専門家からも講義を受ける事で多くの学びの場を提供している。「海洋環境」は理科で担当し、串本町近隣の研究施設から専門家に依頼し、施設見学及び学校での出前授業を実施する。和歌山県水産試験場、近畿大学水産研究所、串本海中公園、弁天前定置水産、和歌山県東漁業協同組合、串本海上保安署による授業および見学や体験学習を行う。体験を重視し、研究施設での講義・実習や、自然観察を中心として串本を学ぶ。また、串本在住の貝類学会会員、化石の専門家にも協力を依頼し、本校周辺の海岸での生物採取や化石探し、海藻の分布など、身近な物から学べるような工夫している。串本の素晴らしさを感じることで地元を高校から活性化していくことを目的として、串本の海を色々な視点から学んだ。「水産生物探究」は理科で担当し、捕鯨や淡水魚・水産加工や流通を中心に学んだ。科学的な知見のみならず、串本の捕鯨や淡水魚にまつわる文化や歴史について、近畿大学水産研究所や南紀ジオパークガイド、古座川町役場、古座川漁業協同組合、太地町立くじらの博物館の専門家による講義を受けた。また、自分たちと異なる地域の文化に触れ、意見交流を行うため、県外の高校と ZOOM によるオンライン交流授業も行い、特産品や水産物の比較検討等も行った。「南紀自然文化探求」は理科で担当し、和歌山県の紀南地方で新しく認定された南紀熊野ジオパークを学ぶことで、串本で起きたドラマチックな地球の活動や自然の作り出した地形を観察し、地形の成り立ちやそのダイナミックな地殻変動を学んだ。

活動中の写真

